第６回ホウ素中性子捕捉療法（ＢＮＣＴ）推進協議会の概要について

１　と　き　　令和３年３月２５日（木）午後３時～４時３０分

２　ところ　　國民會館　武藤記念ホール

３　会議の概要

1. 議題１　各拠点における取組み状況等について

　　　　各拠点におけるBNCTの取組み状況等について紹介がありました。

1. 京都大学複合原子力科学研究所における取組み

京都大学複合原子力科学研究所

粒子線腫瘍学研究センター長　　　　　　　　　　　　　　　鈴木　実　氏

1. 国立がん研究センターにおける取組み

国立がん研究センター　放射線治療科長　　　　　　　　　　伊丹　純　氏

1. 大阪大学における取組み

大阪大学核物理研究センター　特任教授　　　　　　　　　　畑澤　順　氏

1. 南東北ＢＮＣＴ研究センターにおける取組み

南東北ＢＮＣＴ研究センター長　　　　　　　　　　　　　髙井　良尋　氏

1. 筑波大学における取組み

筑波大学　医学医療系　生命医科学域　准教授　　　　　　熊田　博明　氏

1. 大阪府立大学　ＢＮＣＴ研究センターにおける取組み

大阪府立大学　ＢＮＣＴ研究センター長　　特認教授　　　切畑　光統　氏

1. 大阪医科大学　関西ＢＮＣＴ共同医療センターにおける取組み

大阪医科大学　関西ＢＮＣＴ共同臨床研究所　所長　　　　小野　公二　氏

1. 議題２　令和２年度事業報告について

人材育成ＷＧについて

会議資料のとおり、令和２年度人材育成WGについて報告がありました。

　　　　【主な説明】

・９月３日に人材育成WGをオンラインで実施し、今年度が最後の開催となる令和２年度BNCT講習会の内容及び開催方法について議論を行った。

・今年度のBNCT講習会については、日本中性子捕捉療法学会との共催で、Zoomによるオンライン開催。12月23日、24日に座学・講義のみを実施し、36名の方にご参加いただいた。

・受講生からのアンケートに、実習や見学を希望する意見もあったので、今後、各医療機関の現場において、OJTを通じた人材育成などに反映していただきたい。

1. 議題３　協議会の解散について

BNCT推進協議会設置要綱の廃止について、事務局より報告しました。

　　　　【主な説明】

　　　　　・「（１）ＢＮＣＴの早期実用化に向けた課題の解決」については、昨年６月に保険診療が開始されＢＮＣＴの実用化が果たされたこと、「（７）その他本推進協議会の目的に沿う活動」については、本協議会が柔軟に活動をするために規定した事項となっているため、協議会解散後は終了。

　　　　　・「（２）研究拠点のさらなる強化に向けた調査研究、提言、要望」、「（３）医療拠点と研究拠点等における国内外ネットワーク形成に向けた調整」、「（４）ＢＮＣＴ普及のためのＰＲに関する活動」については、日本中性子捕捉療法学会が中心となって連携を図り、今後の発展を期すことが望ましいこということで、学会へ引継ぐこととなっている。

　　　　　・「（５）ＢＮＣＴの実用化を契機とした地域振興策（「熊取アトムサイエンスパーク構想」の一環）の調査研究、提言、要望」は、地域振興策の話であるため、今後も京都大学複合原子力科学研究所と熊取町、大阪府が協力し、実施していくものとなっている。

　　　　　・「（６）ＢＮＣＴに関わる人材の育成」については、学会が中心になってとりまとめるという形が望ましいため、学会へ引継ぐこととなっている。

　　　　　・第５回BNCT推進協議会の結果をもって、BNCT推進協議会設置要綱の（２）（３）（４）（６）は本協議会委員長から学会会長あてに事業の引継ぎ

　　の申入れを行っている。

　　　　　・本議題は、今年度末をもって本協議会を解散するため、「ＢＮＣＴ推進協議会設置要綱」について、廃止の手続きするために、提出。

＜閉　会＞